

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「母子保健活動の取り組みの現場からお届けします。」

母子保健は、生涯を通じた健康づくりの出発点

すべての母と子が
健やかに暮らせるように

医療水準や生活水準、公衆衛生の向上などによって、乳児や新生児の死亡率は年々低下しています。その一方、出生率の低下、核家族化、女性の就業率の上昇、伝統的な地域社会の崩壊などにより、母性及び乳幼児を取り巻く家庭環境や社会環境は大きく変化しています。

上毛町では、安全安心な妊娠・出産の実現や子どもの健全な成長発達を促進するため、保健、医療、福祉や教育などの関係機関が連携し、各世代のステージに応じたきめ細やかな母子保健施策を展開し、すべての親と子が地域の中で健やかに暮らせる環境の整備に努めています。

乳幼児の健康づくり

乳幼児期

全国的にメタボリックシンドローム※の増加が問題となっていますが、それは成人のみの課題ではありません。近年では小児肥満が深刻化し、メタボリックシンドロームとの関連が問題視されています。小児肥満の子どもは、その約70%が成人肥満に移行すると考えられ、また高度の小児肥満は、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病を合併する可能性が高くなるため、子どもの頃から肥満予防が大事だと考えられています。

上毛町では、乳幼児健診の受診者のうち、高度肥満の子はいませんが、1歳半、3歳児健診のアンケートによると、甘い飲み物をほぼ毎日摂る習慣がついていたり、おやつ時間が決まっていなかったりと、将来肥満になりやすい生活習慣の子が2割程度います。

成人期に健康的な生活習慣を送るためには、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につける必要があります。乳幼児期は、健康な生活習慣の基盤が形成される時期であり、意識して生活のリズムを整えることが何より子どもの正常な発育・発達を促します。

上毛町では、子育て支援センターが行う事業とあわせて、様々なサービスを実施し、安心して子育てできる環境づくりに努めています。

※メタボリックシンドローム
内臓脂肪型肥満によって様々な病気が引き起こされやすくなった状態

乳幼児期(誕生～小学校入学前)の過ごし方は、大人になってからの生活習慣に大きな影響を与えます。早寝早起きを基本とした、規則正しい生活を送ることが大切です。

お母さん方もぜひ、子育てを通じて、ご家族の生活習慣を振り返ってみてください。

すべてのお母さんと子どもが、健やかに暮らせることを願いながら、これからも、子育て家庭において気をつけてほしい生活習慣について、健診などの場で伝えていきます。

こんな事業を行っています

◎赤ちゃん訪問

生後2ヶ月前後の赤ちゃんがいるご家庭(年間およそ60世帯)を保健師・看護師が訪問して、予防接種や乳幼児健診について説明し、育児相談や体重測定などを行います。



◎乳幼児健診

乳幼児健診は、発達の目安がはっきりしている4ヶ月、7ヶ月、12ヶ月を対象に、幼児健診は1歳半、3歳児を対象に実施しています。各月齢・年齢に応じた、からだや心、ことばの成長、発達を確認し、病気や障がいの早期発見に務めるとともに、子育てのポイントを保護者の方に伝えています。

◎発達相談

子どもの運動や言葉の発達について2ヶ月に1度、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士による相談日を設けています。乳幼児健診などで心配があるお子さんに利用を勧めています。

◎離乳食クッキング

乳児期のお子さんのいるお母さんを対象に、月齢に応じた離乳食作りを栄養士に学ぶ、クッキング教室を開催しています(年3~4回)。主に季節の野菜を使い、大人の食事から取り分けて作る離乳食を学べます。



◎むし歯対策

乳児健診の際、歯科衛生士が、乳児期からのブラッシング方法やおやつの摂り方などを説明し、虫歯予防に取り組んでいます。1歳半健診時にはフッ素塗布、3歳児健診時にはフッ素イオン導入を希望者に対し行います。

また、小学校1、2年生を対象に、虫歯予防処置「シーラント」を行っています。小学6年生の6歳臼歯のむし歯を調べたところ、シーラント実施者では1.5本、未実施者では3本と、50%の抑制効果が見られました。

子育て支援センターに遊びに来ませんか?

リトミック、ベビーマッサージ、おやつづくり、お話し会など、毎月いろいろなイベントを行っています。詳しくは14ページをご覧ください。

●問い合わせ先

子育て支援センター(たいへいの里内) TEL 72-3130



こんな助成を行っています

◎不妊・不育症助成

子どもに恵まれない夫婦はおおよそ10組に1組あるといわれており、不妊治療・不育症治療を受ける夫婦は年々増加しています。不妊治療・不育症治療には保険適用がないものが多く、治療費は高額です。

次世代育成、少子高齢化対策の一環として、不妊治療・不育症治療を受けている夫婦に対して、治療費の一部を助成しています。

◎妊婦健診費用助成

母子手帳交付時に、妊婦健康診査補助券をお渡しします。これは14回分の妊婦健診にかかる費用を補助するものです。健診結果を見て、妊娠高血圧症候群や妊娠糖尿病、貧血の心配がないか確認し、その後の保健指導に活かします。

健康福祉課健康増進係まで
お問い合わせください



健康で安全な妊娠・出産のために

妊娠期

全国的に、低出生体重児(2500g未満で出生する赤ちゃん)が増加傾向にあります。これは、母体の年齢や基礎疾患、栄養状態、過労などが複合的に関連していると考えられます。健やかな赤ちゃんの成長のためにも、まずはお母さんご自身が、自分の体の状態を正しく知ってほしいと願っています。

上毛町では、母子健康手帳を渡す時、妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)・妊娠糖尿病や貧血などを知り、予防に努めてもらうため、妊婦検査の基準値、推奨体重増加量、妊娠中に気をつけてほしい事をまとめたファイルを渡し、保健師が対面で説明しています。

また、妊娠中、尿糖や尿蛋白が(+)以上だった方に、産後の尿検査を実施し、腎障害や糖尿病等の予防と早期発見に努めることで、お母さんの健康づくりを支援しています。

